



ほんごう一彦 県政報告

(平成24年12月)

(発行) 自由民主党長野県議団
松本市小屋南1-12-7
TEL: 0263-85-5153, FAX: 0263-85-5160
<http://h-kazuhiko.jp>

援活のP
用素ラ
更に、
有し材ク
機たとテ
E再し
L生てカ
・医I
ナ療P
テ創細えを
ク葉胞、よ
ノ支をそり
るク金本ダ務% D黒は、成
功に本P字、成熟
とセ融経に當でP字、成
思ルの済傾局あにを貿
要つか以Gをもはヨ場そ・ン平を
がいと外マ受あモン合の経フ均分
わで量の注がり占稼易
れ推的再す發まめぐよ
ます。す和はこる。輸向も
ます。す和はこる。輸向も
を財とP從出に所の
思達めルもボノト
必ダ政な口つ比あ得
れ再日1界1スし優国ま失タす
要ブ出くべて率り收済
ま認本スのルベだろ位とち業1と
がル動、ガ、は、支構
す識のは中・ルと日な比づ率ネ
あアと日ン財11Gで造
す実なでク経の本ポ較く。ツ例の

る力い日学指社ジしり建トえ環
必に本P賞摘会シた・築イば境
要つか以Gをもはヨ場そ・ン平を
がいと外マ受あモン合の経フ均分
わで量の注がり占稼易
れ推的再す發まめぐよ
ます。す和はこる。輸向も
ます。す和はこる。輸向も
を財とP從出に所の
思達めルもボノト
必ダ政な口つ比あ得
れ再日1界1スし優国ま失タす
要ブ出くべて率り收済
ま認本スのルベだろ位とち業1と
がル動、ガ、は、支構
す識のは中・ルと日な比づ率ネ
あアと日ン財11Gで造
す実なでク経の本ポ較く。ツ例の

ば数な5や慌な名るる的ク
今後とも口ロニ率き決電今と世ジ
ま刻続Gに金算機の思界1
にシDをはメ日わには、改
け起が引く日本れ大
止こ予イと本Pの
める測ナと本P代すく済つ
な経さスの発の表。貢的高
け済れ3指の巨すも献社い
れ指る。摘恐大るちす会テ
思のりば戦まるか状現
え力得、すす國に況在
まがま日る。難今をの
ます。日す本国従の後考日
本し再民つ年10察本の
に、生的てに年すの
はまの意こなはれ政
あた10思のる戦ば治
るそ年さ国と後
とれにえ難思最あ
私だも持にわ大き社
はけなて挑れなら会

自
由
長
民
主
縣
本
黨
鄉
縣
會
一
議
彥
團
員

れ切つ敢力の向能
てりこにを体け性21
な拓と挑持現てを世
りくこ戦つ者、秘紀
まこそすと政めど
せとがる、し治たい
に新意社て家未う
なし思会新は知未
るいをにし時の曾
と時強對い代世有
思代くし發精紀の
わを持果想神に可

体の文ダ現戦るれあの
像が化1状略決たり回復
で今のを維な断指、復権
あり弊排持りに導今こで
まの害除を価つ者日そあ
日がす是価きとのがりな
本極ると觀まし政全政
の限日しを治て治と
政に本強持。のにのへは
治至の気た明責喪根の
のつ政りず白任失本希政
全た治1、なあさで望治

ま環的はな展
境安経け」日本は
す。問定済れとは
題つてばい今、
がまらる基「
三まり、本持
本格柱差と
更との思
われ、社基持
れ、会本た發

まへに権に新税て
す。よ実産制い
の施業改
の經成長を
も足中リの
イ漂經、育や
ク流濟安成先
スす財定なほ
ルる政しど
1日政たを指
で本策長集
あ再が期中
り生な政治た
し日従欧国で因くま
ま本つ州經あはとで
のてもも、メわ界
政最弱も、リの
策も含運重ん
に運宮要でお
帰結にありま
はじめの財政
そ期月は後年
は、「が後年
6月、退6
月はござ
は、興要続ろ
ましじそドルスギ料口
せとれ・ガ11電ジ
打しらロスパ・池1
ちて政總ボ・1農.
出政合トタバの
なははく國に航
く家パ空イ・產
は戦ツ機ドシ業
は略ケ等、エ化
りと1、ル燃

最近の長野県経済情勢について

長野県の金融経済動向

(平成24年11月6日 日本銀行松本支店)

長野県経済は、横ばい圏内の動きとなっている。最終需要の動向をみると、

- ・公共投資は低水準ながら、下げ止まっている
- ・住宅投資は下げ止まっている
- ・設備投資は持ち直している
- ・個人消費は底堅く推移している
- ・輸出は弱めの動きとなっている

以上のような最終需要のもとで、生産は弱めの動きとなっている。この他、雇用・所得では、改善の動きに停滞感がみられる。

景気動向調査

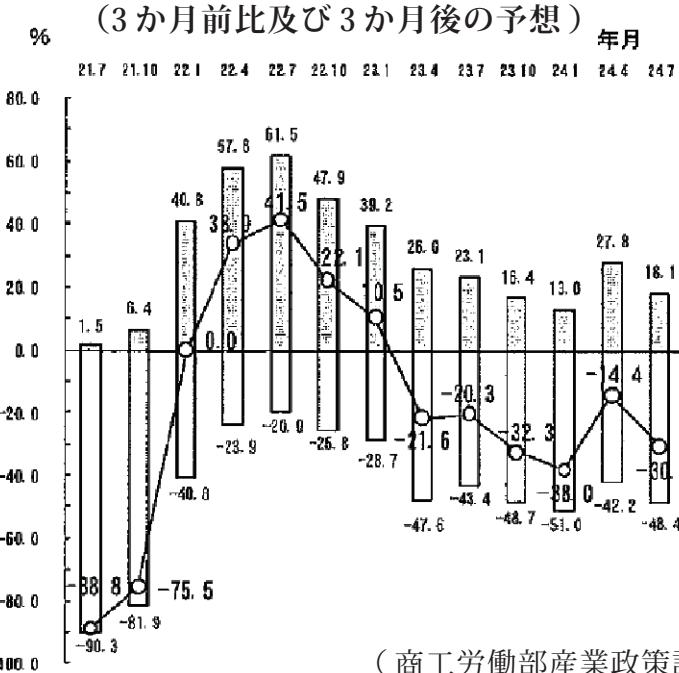
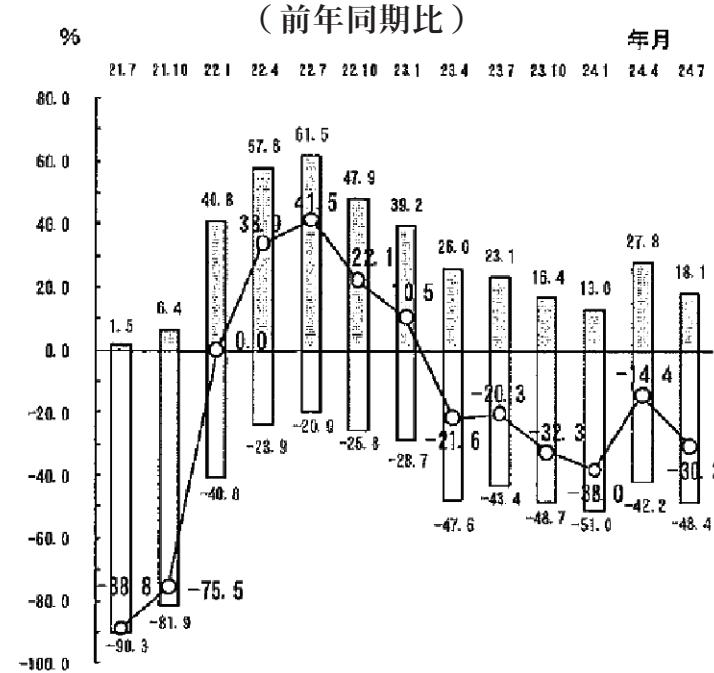
(平成24年7月分 (平成24年9月7日 長野県商工労働部))

【総論】

県内企業の業況感は、持ち直しの動きがみられるものの、海外景気の下振れなどにより、その動きは鈍化しています。製造業では、環境対応車の販売増加に伴い、自動車部品などで整調に推移しているものの、電機・電子で海外需要の減少により受注、生産の減少がみられました。非製造業では、ソフトウェア関連でスマートフォン向けなどの需要が堅調に推移しているものの、個人消費が弱含んでいることを背景に売上高、客数などが減少しています。

【製造業の業況】

前年同期(23年7月)と比べたDI(業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差、%)は、△30.3となり前回調査時(24年4月)の△14.4より15.9ポイント悪化し、6期連続のマイナスとなりました。また、3か月前と比べたDIは、△16.1となり前回調査時の3か月後の予想値△2.2より13.9ポイント悪化し、4期連続のマイナスとなりました。なお、3か月後の予想では、新興国等を始めとした海外需要の拡大や国内需要の持ち直しへの期待感があるものの、円高に伴う景気の先行き不安や海外景気の下振れ懸念、国経済対策の一歩終了の見通しなどを背景に、DIは△17.9となりました。



(商工労働部産業政策課の資料より)

時代精神の体現者としての政治の責任

最近の長野県経済情勢について(続き)

景気動向調査

(平成24年7月分(平成24年9月7日 長野県商工労働部))

【非製造業の業況】

非製造業のDIは、売上高や客数(受注件数)の増加がみられることから情報サービス業は改善しましたが、建設業、卸売業・小売業及び飲食業・宿泊業は悪化しました。

前年同期(23年7月)と比べたDIは△36.6となり前回調査時(24年4月)の△20.1より16.5ポイント悪化しています。

また、3か月前と比べたDIは、△29.5となり前回調査時の3か月後の予想値△26.1より3.4ポイント悪化しています。

なお、3か月後の予想では、景気の先行きに対する不透明感などを背景に、DIは△31.9となりました。

【各業界の動き】

建設業

建設業の業況感は、DIが△36.8と前回(△26.5)より悪化しました。公共工事は引き続き厳しい受注環境にあります。が、受注機会を拡大するため技術力の向上などに取り組む企業がみられます。取引先企業等の設備投資が低調であることや事業者間の価格競争などにより、販売価格は低迷しています。

情報サービス業

情報サービス業の業況感は、DIが25.0と前回(△14.3)より大幅に改善しました。ソフトウェア関連では、タブレット型端末やスマートフォンなどの需要が堅調に推移しており、売上高、客数(受注件数)はともに前年同期を上回る企業の割合が増加しています。業務用システム関連では、製造業や小売業等からの受注が増加し、販売価格、収益率はともに前年同期を上回る企業の割合が増えています。

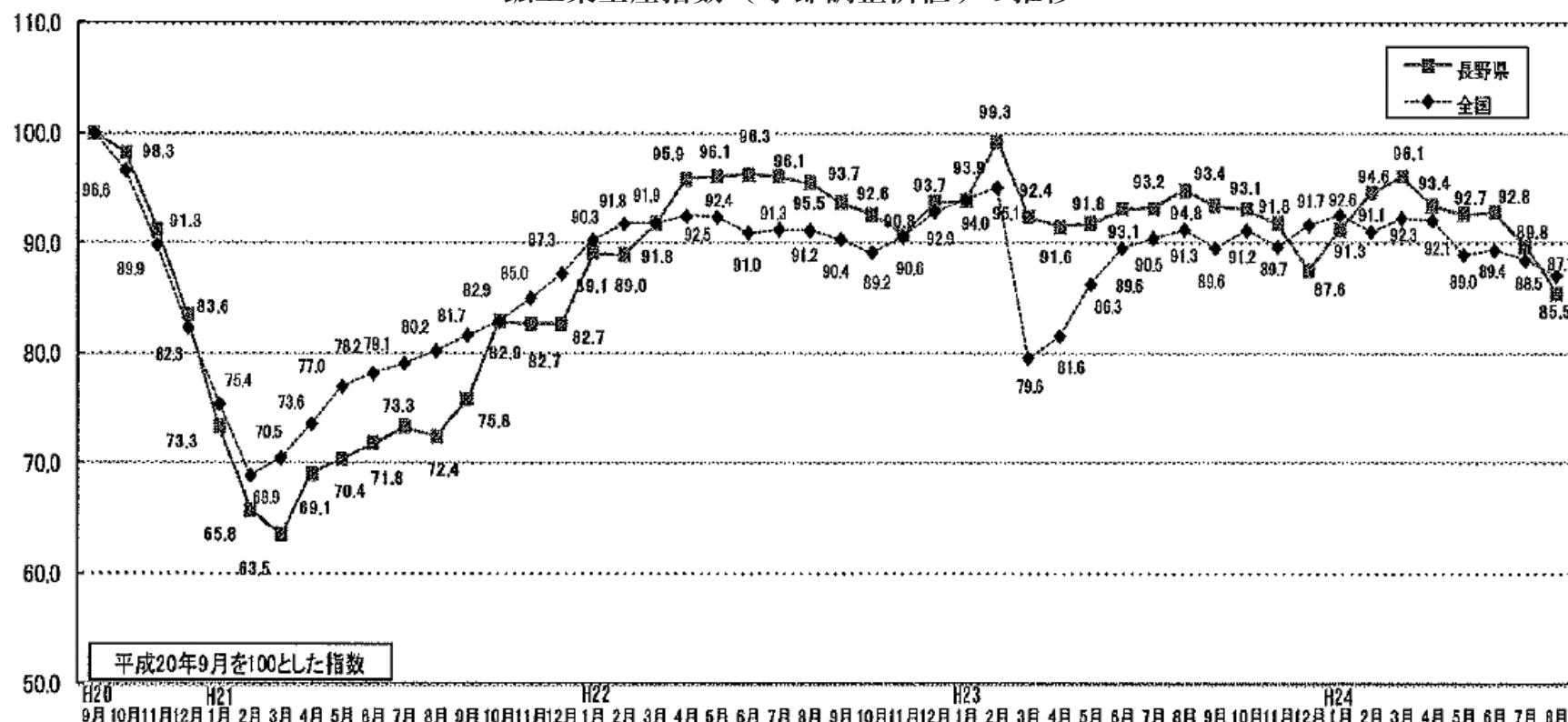
小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、DIが△38.4と前回(△22.5)より悪化しました。小売業では、昨年の地上デジタル放送移行に伴うテレビの買い替え需要の反動などにより、売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しています。卸売業では、取引先の減少や消費者の購買意欲が慎重であることなどにより、売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しました。

飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、DIが△39.4と前回(△2.3)より悪化しました。飲食業では、外食機会の減少や大手チェーン店等の新規店舗進出による事業者間の競争などにより売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しています。宿泊業では、インターネットからの予約などによる個人客数は整調に推移しているものの、団体客数の低迷などにより売上高、客数はともに前年同期を下回る企業の割合が増加しています。

鉱工業生産指数(季節調整済値)の推移



※上記指標は、長野県鉱工業生産指数(長野県企画部)、鉱工業生産指数(経済産業省)を基に産業政策課で算出したものである。

(商工労働部産業政策課の資料より)



1月定例県議会に向け阿部知事と意見交換



長野県経済の衰微傾向に対し景気対策を要望



母校旭町小学校90周年記念式典にて挨拶